



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology



AGTGAAATTATGGAAATT

東工大生 とゆう 生きもの

生命理工学院の学生生活

東京工業大学生命理工学院
詳しい研究内容、学生の活躍等
<https://educ.titech.ac.jp/bio/>



生命理工学院詳細情報
受験生向けの特設ページ
<http://www.bio.titech.ac.jp/outline/index.html>



生命って、

なんて優れたシステムで

動いてるんだらう。

遺伝子という神秘のプログラム。

生物の造形に隠されたアルゴリズム。

生態系の見えない意志のようなメカニズム。

数億年の時の流れに磨かれてきた、洗練されたしくみ。

「生命」に対して、「理学」の探究心はもちろん、

「工学」というエンジニアリングの視点からアプローチするのが、

『生命理工学院』です。

あたらしい発見を、社会に役立てていくために。

理工の目で、生物学にイノベーションを。

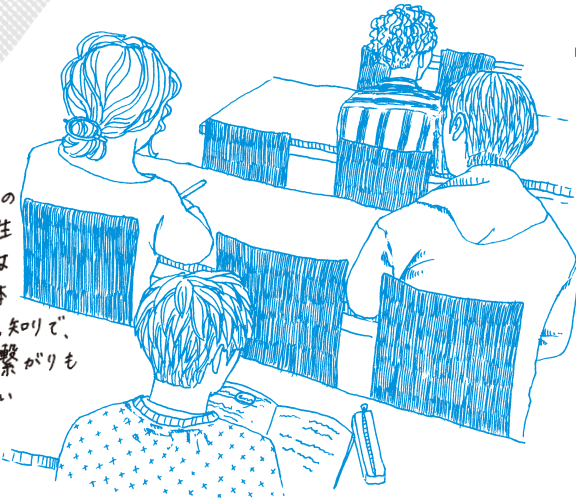
生命理工学生の観察

学生生活を観察し、生命理工学生のリアルな生態に迫りました。

4分の1が女子学生

女子校出身者もすぐに馴染める環境で、性別を越えた友人も多くできるようだ。

東工大の女子学生同士は大体顔見知りで、その繋がりが強い



髪の色が明るい人も多く、後ろの席に座って辺りを見渡すと教室が全体的に明るく見えることも

生命理工学院は所属学生の4分の1が女子学生で、東工大の中で最も女子学生の割合が高い

実は生物初心者が多い

大学で初めて生物を学ぶ学生も多いが、未履修を越えた授業のお陰で勉強についていけなくなる心配は無い。

高校生物を勉強していないことを前提に組まれたカリキュラムや学修サポート、生物を基礎から学べる授業も充実しており、「初心者でも安心して学べた」という学生が多い

生命系の学院でも意外と虫が苦手な人もいるようだ



生物はただの暗記科目ではないことに驚く学生も多数いる

入学当初は生物分野に関心がなかった学生も、様々な分野・角度から生命を見つけることで、興味のある分野を見つけようとする学生もいる

「生とど

学生たちは生物物理・化学な

研究や授業において、物理や科学の知見を生かせる内容も多い

自分の時間を取りたい学生は活動の頻度が少ないサークルに所属するなど、学生生活の過ごし方は人それぞれ

忙しくても、やりくり上手

研究や課題に追われることはあるものの、アルバイトやサークルなどの課外活動を謳歌している人も多い。

鳥人間競技サークルなど、ものづくり系のサークルがあるのは東工大ならでは

塾講師や家庭教師のアルバイトをしている人が多い

中には7つのサークルを掛け持ちする学生も

戦友がいる

2年次には年間を通じて同じグループで実験を行う授業がある。日々の実験の中でグループ内には特別な絆が。

クリスマスにプレゼント交換をしようほどこにまで仲を深めたグループも



レポートは提出ギリギリまで粘る学生が多い

実験科目は予習をはじめレポート執筆やリサーチ作業があるため、2年生は単発の毎日を送っているようだ

テスト前はチーズケーキに集まる

生命理工学院にはフレンドリーでお洒落な学生が多い。テスト前には図書館に集まって楽しく喋りながら勉強する光景も。



三角の形をした図書館は、学生たちから「チーズケーキの愛称」で親しまれている

他の学院との隔たりはなく、学院を越えて仲良くなる学生も多い

普段からも勉強を互いに教え合うなど、学生の間には助け合う文化がある

学生たちは空きコマの時間に大岡山でラーメンを食べたり、自由が丘へパンケーキを食べに行ったり、思い思いの休み時間を過ごしている

1年次から 研究力を発揮

研究活動ができるゼミや、低学年から研究できる制度を利用して、早期から研究に携わる学生も

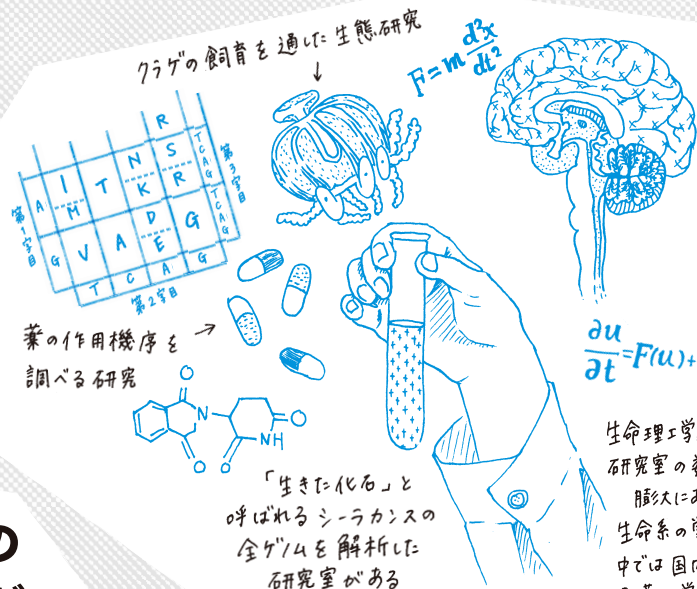
1年次は学院独自の授業で最先端の研究を学んだり、グループワークを経験し、研究に対する夢を膨らませる。

自ら考え、チームワークを発揮し成果を出す
研究授業は、学生の課題発見から課題解決力の鍛錬に繋がっているようだ



研究で、 未知に挑む

学生たちは生命と様々な分野を掛け合わせた最先端の研究を通して、生命の新しい可能性を見出している。

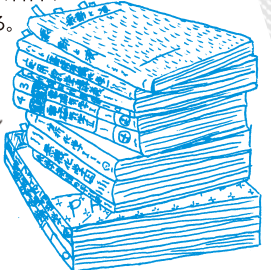


生命理工学院には、「生命を知る・学ぶ・育む・利用する・病気を治療する・薬を育む・環境問題に取り組む」という様々なジャンルの研究がある

生命理工学院は研究室の数が膨大な数にあり、生命系の学院の中では国内最大規模の学院である

「物」だけに まらない

命を理解するために生命系科目や幅広い分野を学んでいる。



東工大全体では文系・教養科目にも力を入れており、多方面の知識や考え方を学べる

日常の 風景が 変わって 見える



街中で目に入りに英単語の略称が生物で出てくる物質名の略称に見えてくることもある

紫外線を感じたら遠征者が傷ついているんじゃないか

熱が出たら免疫細胞が働いて抗体が作られているんじゃないか

3年次後期から 研究最前線へ

研究室の配属決定に伴い、3年次後期からすずかけ台キャンパスに拠点を移す学生がいる。

研究室の配属決定は他の学院と比べてちょっと早い

配属によっては1,2年次と変わらず大岡山で過ごす学生もいる。サクルの拠点は、大岡山にあることが多い

困った時は大学の サポートを利用

学生たちは生命理工学院にある多数のサポート制度を利用して、学生生活や学習面の様々なことを相談している。

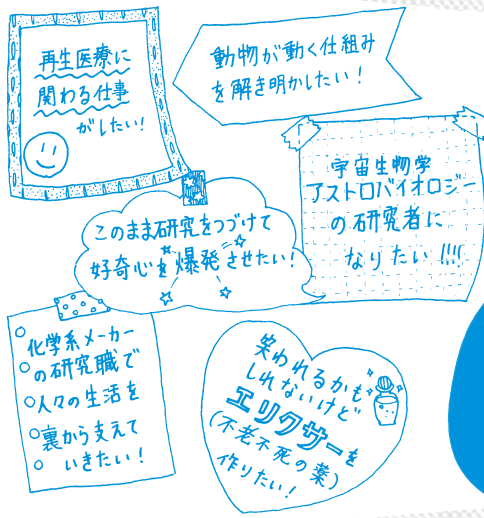
すべての学生1人に対して2人のアドバイザーが、学修を支援するアカデミック・アドバイザー制度や学修コンシェルジュ制度によって学生の学修がサポートされている

充実したサポート制度は学生たちにとって、いつでも相談できる安心感のあるもののように

大岡山キャンパスですずかけ台キャンパスを中心に、女子寮を含めた計13箇所の学生寮の提供も行われている

様々な 場所で 可能性を ひらく

学生の描く将来は十人十色。この多様こそが、生命理工学分野の可能性の幅広さなのかもしれない。



学生の多くは大学院へ進学する

京大職先も、研究職やメーカーだけに留まらず、製薬会社や商社、広告代理店などと幅広い

複数の先生が1つの科目を担当することから、学生たちは手厚い指導を受けている



人文や芸術科目も充実

普通の薄さの教科書では満足できない学生もちらほら